第 2016-34 号

恵みと真理のニュース

2016 年 8 月の三次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　清い救いの神様、全能なる治療の神様を賛美します

私はキョンブクのポハンで2男2女の長女で生まれ育ちました。学校を卒業して職場生活をしてから6年になる年にふとキリスト教の信仰に好奇心が出来ました。それで、ある勧士にイエス様の十字架に関して聞きながらその方に導かれ教会に行きました。説教を聞く時にイエス様に対する感謝の涙が出ました。
職場生活をする時間に歌詞の意味は知らないが"巡礼者の歌"を聞き歌うのが楽しいでした。職場を通って30歳の時に結婚しました。婚家は偶像う崇拝を熱心に仕える家庭でした。まだ神様に対する信仰が弱かった私はその時から主を離れました。旦那は職場生活に忠実してその間二人の娘を産みました。長女が中学生に入学した後、私は家事に専念して旦那が退職して事業をはじめてから再び職場に通いました。姑はたまに家に来るたびに偶像崇拝に関連する話だけしました。姑が偶像崇拝に関連する額を壁に掛けなさいと言われたときに何も考えなくて 姑がさせる通りしました。偶像崇拝をする家の雰囲気に惑わされ忙しく生活をしながら神様を信じる信仰生活を忘れた状態になってしまいました。そうするうちに急に旦那の事業が悪くなって次代に収益が減りました。そして結局閉業に至りました。
2004年の事でした。その後、最後まで持っていた家とあまり残ってない 所有物まですべて失いました。そのように難しく生活するうちに旦那がアンヤンにある会社に就職しました。私はポハンの家に残って二人の娘を面倒見ながら職場生活を続けました。
ところが、2007年から体に力がなくてたまに頭が痛くなり始めました。我慢できたので一か月に一回旦那がいるアンヤンに行って来ました。しかし、2009年ある日から急に体温が落ちて歩くのが遅くなって目立つように低体温の現状が現れました。以前は風邪にもかからなくて苦痛もないほど健康だった私が寒がりになって温かいところを探しました。食欲も落ちって消化不良にも重なって、食べ物も食べられないからいつも力がなくて横になって過ごす時間が多くなりました。
病院に行って内視鏡検査を受けてみて胃腸薬も飲みましたが、むしろもっと体が弱くなって左腕と右側足が一緒にしびれて重くなりました。 力を出して散歩のような運動をしてみてもしようがなかったです。 体に水分が不足で水を飲もうようとしても、非常に少ない量しか飲めませんでした。体温も続けて落ちて栄養剤の注射を受けると体温が上がてすぐ低体温の状態に戻ります。そんな状態で血圧まで高くなり職場をやめて旦那の所に来ました。 旦那は私を病院に入院させて総合検診を受けさせました。しかし、詳しい病名の原因を知らなくて薬だけもらって退院しました。薬を飲む時だけ血圧が落ちてまた上がる状態になりました。ある日からは血圧が180まで上がって頭が痛くてたまらないほどで心臓が痛くて拍動が急激に早くなりました。
漢方薬も飲んでみましたが、何も効かなくて症状は酷くなって横になる生活を続きました。朝ごはんを作って会社に行った旦那が昼に家へ来て昼ごはんを食べて会社が終わってまたご飯を作る生活を３か月が超えるほどしました。体がもっと弱くなって寝るときに息切れがして救急室に行くことが繰り返されると、旦那に家庭のすべての問題を任せて私の人生の最後を考えて見る状況になりました。 こうしているうちに死んだね。思ったらあまりにも空しい気がし、二人の娘の結婚もさせずに死ぬかもしれないという気にひそかに泣いたりもたくさんしました。
その中で私は30年前の教会に行った事が思い出しました。教会に行きたかったですが、一方偶像崇拝する家の環境で慣れたせいか、すぐ教会に行くのか怖かったです。
そのごろ他の家で仕方なく引っ越しをする事情が出来ました。旦那が私に今日だけでも 不動産業者に行って引越しする家を一度聞いてほしいと述べました。 不動産仲介業者らをキウッちょっと、ある仲介業者の前で私も知らないに足が止まりました。 ドアを開けて入ってみたら、壁に聖書が書かれた額がかかっていました。 不動産の中にいた人が私を新設に接してくださいました。
私はその方に教会に通っているか聞きました。恵みと真理教会の区域長でした。区域長と信仰に関連する話をして心に感動を受けその日から2012年4月9日恵みと真理教会の月曜祝福礼拝に参席しました。
区域長に手を掴んで大聖殿の階段を上がるときにとてもうれしくて全ての体が震えました。椅子に座って説教をする当会長の顔を見るだけでも、聖霊の助けが望まれ心が平安になり涙が止まらなかったです。礼拝時間に感激して礼拝の中で聞いた牧師の説教を終わった後、何も覚えてないがその日の牧師 顔や姿を生々しく記憶が出るぐらいでした。。
家に帰って来ていた旦那に教会に行ってきたと話すと旦那はよく行ってきたと教会に通いながら私の病気が治ったら良いとしました。私はその日依然と違ってぐっすり寝ました。驚くことです。それだけでなく、朝から掃除と家事をして忙しく動かしても頭が痛くなくて血圧も上がらなかったです。気持ちも良くて体が疲れなかったです。
その日から私はもう横になる生活をしなくて平日礼拝も熱心に参席して説教も聞き聖書も読み始めました。区域礼拝も捧げて待ち望む心で教会に行きました。家事をすることも楽しくて説教を聞き賛美を聞きながら料理もして隣人にも分かち合いました。そうしながら、私の体が完全に変化されました。いつも痛かった頭、足、弱かった心臓など全てが治って健康になりました。神様が治療してくださいました。ハレルヤ！
私はポハンの家に帰って家にある偶像崇拝に関連する物を捨て整理整頓をしました。壁の真ん中に十字架をまずかけました。私が教会に通って６ヶ月になる頃旦那と二人の娘も共に教会に行って神様に礼拝を捧げるようになりました。
私の夫婦は３年前から国内宣教連合会で奉仕をはじめて区域長の職分も受けました。また、神様は大きい家を買える福も与えてくださって二人の娘が学校を卒業をしてみんな教会中心の信仰生活をするようになりました。 今私は毎日黙想して賛美を捧げ牧師の説教を聴きます。このような日々が幸せです。長い間、神様を離れていた私を赦してくださり福ある人生を与えくださった主に感謝と賛美をします。主の御言葉で慰めと励ましてくださり私の人生を豊にする当会長の牧師にも感謝し、今まで愛の心で祈ってくださった伝道士と区域長にも感謝をします。

［信仰コラム］　アァメン、主イエスよ、きたりませ

"... これらのことをあかしするかたが仰せになる、「しかり、わたしはすぐに来る」。アァメン、主イエスよ、きたりませ。... "（黙示録2:19～21）

神様は人を"神様の形と姿通に"特別な存在として御造りなさいました。これは人間の全人格が神様の品性と属性の影響を受けて造られたことを意味します。神様は他の生物は命令なさることで御造りなさい生命体になるようになさったが、人間の場合はその肉体を直接御造りなさい、直接息を吹き込むことで霊的な生命体になるようになさいました。人の魂と肉親が全て貴重であるが優先すべきのことは魂であります。人の肉体は事故や疾病、老いによって死ぬがその人の魂は死なずに肉体から離れて天国あるいは地獄に行きます。人は自分が肉体を持った魂だという事実と本質上は罪人であるということを必ず認識すべきです。
神様は人にこの地の全被造物を征服して治め、管理する権限と能力を与えてくださいました。神様が人間に任した権限は相対的なことだけで、絶対的なことではありません。しかし、人間はサタンの誘いに陥って神様の命令に逆らい善悪果を取って食べる罪を犯してしまいました。召使いが主人に成り済まそうとしたのです。その後、罪人になったアダムの子孫全てが本質上罪人として生まれ、神様の怒りの下にいるようになりました。神様の怒りの下にいる魂は結局、地獄刑罰を受けます。このような人間を哀れみ、愛した神様が解決策を与えてくださいました。その解決策がイエスキリストであります。神様の独り子であるイエス様が罪人達の罪を代わりに担って十字架につけられる刑罰を受けられ、蘇られて昇天なさいました。そうして罪人達に誠に幸いで喜ばしい消息が宣布されました。イエス様がこの世に御越しになって私達の罪を購ってくださり信じる全ての人々が正しくなり、とこしえの命を得て、天国で住むようになったのでこれ以上望むことがありません。それなのに、神様は聖徒達のためにより大きい福と恵みを約束なさいました。これはイエスキリストの再臨によって聖徒達が享受する福を恵みであります。
イエス様が再び御越しになりこの世とサタンを審判なさるでしょう。空と地を熱烈に燃える火で溶けて新たな空と新たな地が到来するようになさるでしょう。そして、花嫁が夫のために着飾ったような新たなエルサレムを聖徒達に与えてくださいます。それだけではなく、聖徒達は復活して変化した体を被って主を迎えるでしょう。イエス様の初臨が意味する福音を信じる人にはイエス様の再臨に対する予言は生活の活気と喜びを与える要因になり、人生の道で直面する全ての苦難を克服する力になります。イエスキリストの再臨は聖書に予言されており、約束されています。予言者達が予言した御言葉があって天使達が予告した御言葉があり、使徒達が聖霊に感じた予言した御言葉があります。そして、イエス様が直接言われた御言葉があります。イエス様の再臨は新約聖書だけに 300 回以上記録されています。イエスキリストの再臨こそ新約聖書で探し出すことができる最も重要な教理の中で一つだと言えます。
自由主義神学者達はイエスキリストの人格的な再臨を否定してイエスキリストの愛と正義の原理が社会を支配するようになることを再臨の意味だと説明します。又他の人々はイエスキリストの再臨は五旬節の聖霊降臨で叶えられたことだと話します。このような教えは聖書に背馳することで恣意的に解釈した誤ったことであります。再臨なさるイエスキリストは光栄の中で現れ王の王、主の主として御越しになり諸々の民を審判なさいます。しかし、何よりも聖徒達のために再び御越しになります。イエスキリストの再臨によってキリストの中で死んだ人々の体が復活するようになり、生きている人の体も変化するでしょう。そうして、一緒に光栄の中で主をお目にかかるでしょう。そして、各人が冠を受け自分が行った通りに賞を受けるでしょう。
イエスキリストの初臨と再臨について知らないことや歪曲された知識を持つことより害になることはありません。聖徒の皆さんはこの世に御越しになって購いを完遂なさったイエス様を信じて愛するだけではなく、再び御越しになるイエス様を待ちながらその日に経験するようになることを考えることで楽しみと望みが満ちるよう願います。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

信仰と心の確定

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

人の運命は彼が持った信仰によって左右されるという事実が聖書に啓示されています。 “わが義人は、信仰によって生きる。もし信仰を捨てるなら、わたしのたましいはこれを喜ばない」。”（ヘブル人への手紙, 10:38）したし、“ 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自体を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。”（ヘブル人への手紙 11:6)と記録されています。 今日は本文を中心にして信仰と心の確定に関してよく見ます。

第一は、信仰が何やらよく見ます。

本文で “信仰は望むものの実在であり見られないものの証拠”と定義しました。 先ずに‘実際’という用語の意味を調べます。 確信という意味があって保証という意味があります。現実化という意味があって実体という意味があり土台という意味があります。 これを総合して解釈して見れば “信仰は所望を支えてくれる土台として願うのが成り立つことを保証してくれる実体”と説明することができます。 “信仰は見られないものの証拠”と言ったお言葉で ‘証拠’という用語の意味を調べます。 ‘証拠’と翻訳された聖書の原語はどれを明らかにして表で現わしてくれることまたは確かにさせることであるという意味があります。 ‘証拠’という国語の辞典の意味は ‘証明することができる根拠’です。 “信仰は見られないものの証拠”というお話は “信仰と言うのは見えないものが事実で 実在するのをはっきりと証明すること”と説明することができます。 そうするので “信仰は望むものの実際であり見られないものの証拠”というお言葉は “信仰は所望を支えてくれる土台として望むものが成り立つことを保証してくれて、見えないものが実在することをはっきりと証明してくれるのである。” と説明することができます。 それではその信仰の根拠が何かと言う問題が頭をもたげます。 その根拠は聖書に啓示された神様のお言葉です。 預言は決して人間の意志から出たものではなく、人々が聖霊に感じ、神によって語ったものだからである （ペテロの第二の手紙 1: 21）だから聖書に記録されたお言葉は皆が真実です。 イエス様が親しくおっしゃるのを “天地は滅びるであろう。しかしわたしの言葉は滅びることがない。”（マタイによる福音書, 24:35）としました。 ヘブル人への手紙 6 章に記録されるのを “そこで、神は、約束のものを受け継ぐ人々に、ご計画の不変であることを、いっそうはっきり示そうと思われ、誓いによって保証されたのである。それは、偽ることのあり得ない神に立てられた二つの不変の事がらによって、前におかれている望みを捕えようとして世をのがれてきたわたしたちが、力強い励ましを受けるためである。”（ヘブル人への手紙, 6:17,18）としました。 私たちの持った信仰はこのような神様のお言葉、神様の口約束に根拠したのです。

だから私たちが信仰を持とうとすれば神様のお言葉をきいて分からなければなりません。 人生を幸せになる信仰、神様の助ける手助けを体験する信仰、神様を嬉しくする信仰は聖書に記録された神様のお言葉を信じる信仰です。

二番目は、心の考えと信仰の関係をよく見ます。

心は考えの出処で考えを収容する食器です。 そうするので ‘心の考え’という表現をします。 聖書は私たちに無念無想の状態を持ちなさいと教えないです。 良い考え、立派な考えを持つように教訓しています。 パウロ使徒は聖徒に “最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。”（ピリピ人への手紙 4:8）としました。 聖書のお言葉は神様の考えを人間の言語で記録しておいたのです。 聖書に記録された神様のお言葉を心に受け入れてそのまま思うのが信仰です。 聖書のお言葉を心にそのまま受け入れるのがあまり易しくはないです。 何故ならば聖書のお言葉の中には人間の経験と知識では理解できないことが多いからです。
聖書の初の章を開けば “はじめに神は天と地とを創造された。地は形なく、むなしく、やみが淵のおもてにあり、神の霊が水のおもてをおおっていた。神は「光あれ」と言われた。すると光があった。神はその光を見て、良しとされた。神はその光とやみとを分けられた。神は光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。夕となり、また朝となった。第一日である。”（創世記 1:1-5)このように始まります。 聖書には幾多の奇事と奇跡の事件が記録されています。 神様のイエスキリストが童貞女の体に聖霊に孕胎されて世の中へいらっしゃったというお言葉、イエス様がおこなった幾多の奇跡に対するお言葉、釘付けられて 死んだイエス様が三日ぶりに墓から復活したし多くの弟子が見るうちに天に上がったというお言葉、イエスキリストを信じればすべての罪が赦しを受けるようになるというお言葉、将来イエス様が雲を乗ってまたいらっしゃる日に聖徒の死んだ体が復活して生きている聖徒の体はあっという間に忽然と変化されて空の中で神様を迎接するようになるというお言葉があります。 このような聖書お言葉を心にそのまま受け入れてそのまま思うのが信仰です。

三番目は、信仰と心の確定に関してよく見ます。

目にはどんな証拠も見えないで耳にはどんな話いも聞こえなくても神様の約束したお言葉どおり思うことに心に確定をすることが信仰です。 完全な信仰は心の確定というのを説明してくれる見習うのがローマ人への手紙で 4 章にあります。 アブラハムに関する記録です。 “わたしは、あなたを立てて多くの国民の父としたと書いてあるとおりである。彼はこの神、すなわち、死人を生かし、無から有を呼び出される神を信じたのである。”（ローマ人への手紙人への手紙 4:17). アブラハムは自分と彼の妻の体が子を生むことができない状態であることが分かりました。 自分の年が 100 歳で妻の年は 90 歳でした。 しかし彼は子を生むようになることを思いました。このような考えの根拠は神様が彼に与えた口約束です。 アブラハムが７５歳に三回に神様が彼に約束するのを “わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。”（創世記 12:2）しました。 その後にも何回も約束しました。 アブラハムは自分の肉体の状態を見る時に到底に見こみがなくても、ないことをあることのように呼び出す神様を信じました。 彼は望むことができない内に望みました。 神様のお言葉に根拠して望むことができない 内に望むようになったということはそのお言葉が現実化されることに対する徴兆です。 神様の約束はこれを受け入れる者に彼の望むものが成り立つまで堅く立っていることができる足場になります。 困難の中で心を定めてください。 神様の助けに近付く結果を思って心を定めてください。
患難にあった方々は次のお言葉として心を定めてください。 “それだけではなく、患難をも喜んでいる。なぜなら、患難は忍耐を生み出し、忍耐は錬達を生み出し、錬達は希望を生み出すことを、知っているからである。”（ローマ人への手紙人への手紙 5:3,4)、“神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。”（ローマ人への手紙人への手紙 8:28)、“こうして、あなたがたの信仰はためされて、火で精錬されても朽ちる外はない金よりもはるかに尊いことが明らかにされ、イエス・キリストの現れるとき、さんびと栄光とほまれとに変るであろう。”（ペテロの第一の手紙 1:7). このようなお言葉に頼って最終的な善と有益と勝利に対する考えで心を定めた後 “神よ、わたしの心は定まりました。わたしの心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。”と叫んで讃尿なさってください。
疾病に苦痛される方々は次のお話で心を定めてください。 “あなたが、もしあなたの神、主の声に良く聞き従い、その目に正しいと見られることを行い、その戒めに耳を傾け、すべての定めを守るならば、わたしは、かつてエジプトびとに下した病を一つもあなたに下さないであろう。わたしは主であって、あなたをいやすものである」”（出エジプト記 15:26)、“ しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。あなたがたは牛舎から出る子牛のように外に出て、とびはねる。”（マラキ書 4:2)、“ 信仰による祈は、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。”（ヤコブの手紙 5:15). このようなお言葉に基づいて治癒と生命と健康に対する考えで心を定めてください。 皆さんが癒された姿、元気で生きて行く姿を思ってください。 そんな後、“神様よ、私の心が確定されたし私の心が確定されたので私が歌と私が讃尿するのである。”と叫んで讃尿なさってください。 人が作ったすべての品物は先に人の心に考えで存在したのが現実で現われるようになったのです。 神様が皆さんのために働く前に皆さんの心の考えを察します。 神様は聖徒の心にある考えを貴重に思います。 神様を依頼して神様のお言葉に基づいて確定された心の考えを現実になるようにします。

皆さんの心を未確定の状態で置かないでください。 神様の約束に相反した考えが落ち着くことができないようにしてください。 二つの心を抱いて定めない状態にならないようにしなければなりません。 神様のお言葉に基づいて心を定めてください。 “神よ、わたしの心は定まりました。わたしの心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。” と叫んで讃尿なさるように願いします。